

SDGsをフィルターとし、  
食品ロスの問題を問い直す学習活動を通して

愛知県中学校産業教育研究協議会 三河地区

# ☆ 三河部の研究のポイント

- ① 目標と評価の一体化
- ② 問い直し
- ③ SDGsをフィルターに

# ☆ 三河部の研究のポイント

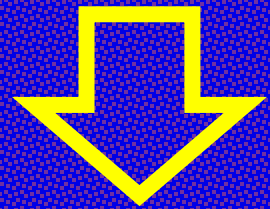
- ① 目標と評価の一体化
- ② 問い直し
- ③ SDGsをフィルタに

## 問題解決的な学習

番号	段階
Plan(計画)	問題把握・目標設定・計画立案
Do(実行)	解決策の実行
Check(評価)	問題の解決に向かっているかを評価
Action(改善)	評価を基にした改善

## はじめに

生徒は見出し語で情報を集め、最適解を求め、続活の実現に向けて必要なことを考える生徒の姿



新たな視点を取り入れたり、異なる角度から発想したりして、自ら工夫し創造しようとする生徒

# 研究のねらい

## 生徒の実態

- ・「食べ物を無駄にすることは、よくない」という意識をもっている。
- ・「傷みのない新鮮なもの」「量の多いもの」「賞味期限の長いもの」を選ぶとよいと考えている。

## 目指す生徒像



よりよい生活の実現と持続可能な社会の構築に向け、既存・既習の知識や考えを応用するだけではなく、新たな視点を取り入れたり、それまでとは違った角度から発想したりして、自ら工夫し創造することができる生徒

## 研究の仮説

学習過程に問い直す場を位置付け、SDGsの視点から問い直しをしたり、自分の考えを明確にもち仲間と問い直し合うようにしたりすれば、生徒は、自分の解決方法のよさや足りなさに気づいたり、仲間の解決方法のよさに気づいたりして検討を重ね、よりよい解決方法を考えることができるだろう。

# 研究の手だて

手だて①

SDGsの視点から問い直す

手だて②

解決方法を具体的に考える

手だて③

仲間と問い直し合う

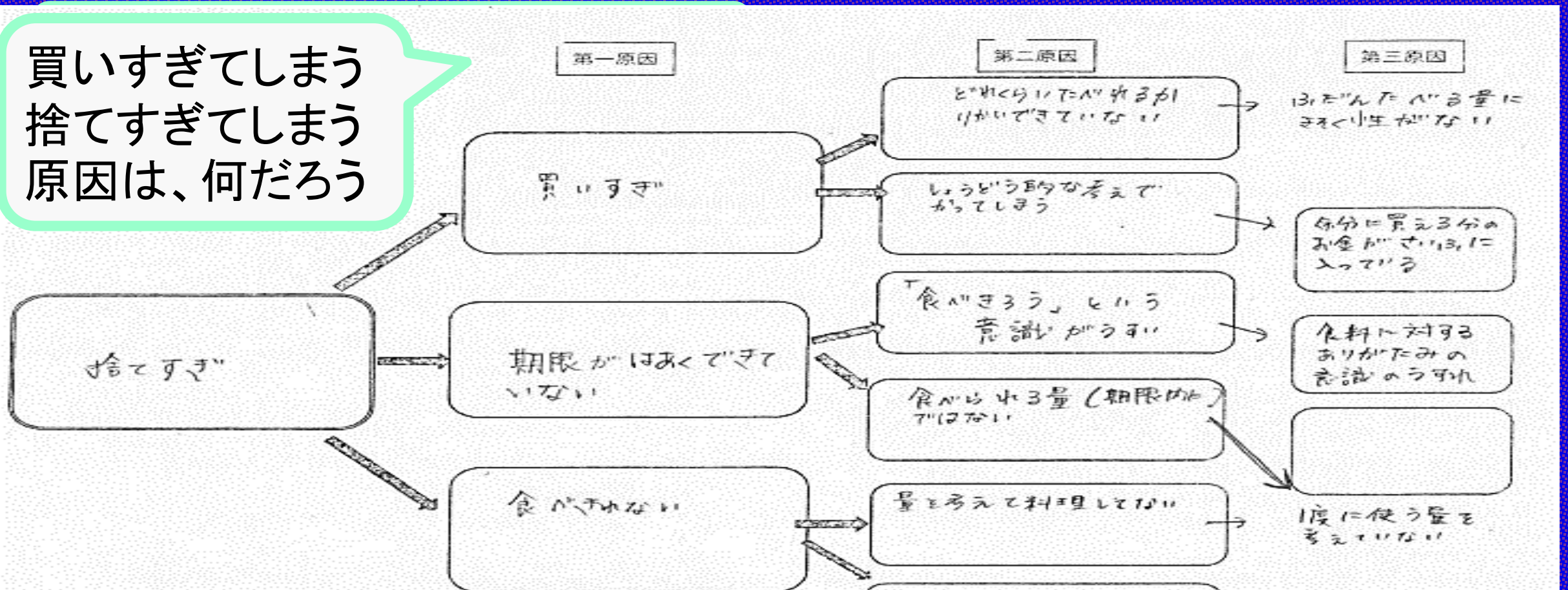




# 研究の手だて

## 手だて② 解決方法を具体的に考える

買いすぎてしまう  
捨てるすぎてしまう  
原因は、何だろう



# 研究の手だて

## 手だて③ 仲間と問い直し合う

QWORD

なんで？

QWORD

本当に？

QWORD

どういうこと？

QWORD

たとえば？

時間があるときに  
1週間分のメニューを考え  
ておくことで、余分なもの  
を作らずにすむから、  
食品ロスが削減できる

# 研究の実践

## ①どんな所に食べ物は入っているのだろうか(第1時)

いろいろな場所にいろいろな食品があることがわかりました。それぞれの家によって、保

存のやり方や場所がちがうことがわかりました。どんな保存方法がいいのかを

これから知ってほしいです。

# 研究の実践

## ②生鮮食品と加工食品の違いを知ろう(第2時)

加工食品の規定を詳しく調べたんです。

野菜で、野菜室に入っている場合と戸棚に入っている場合がある。

ので、そのちがいを調べたんです。

## 研究の実践

### ③ 生鮮食品と加工食品の表示を確認しよう(第3時)

なるべく捨てるものを少なくするために、保存方法を考えたり、食品の

表示を見て、賞味期限や、消費期限をしっかりと見て、買うか決めたいと

思いました。

## 研究の実践

④ どうして買いすぎ・捨てすぎはよくないのだろう

(第4時)

買いすぎの原因で食品ロスがおこるから、自分の食べられる量と量をほめて

おくことから始めないと思いました。食品ロスが原因で地球温暖化になるとき

もあるので、食べられない食品は買いすぎないことがいいなと思いました。

# 研究の実践

## ⑤ 買いすぎてしまう・捨てすぎてしまう

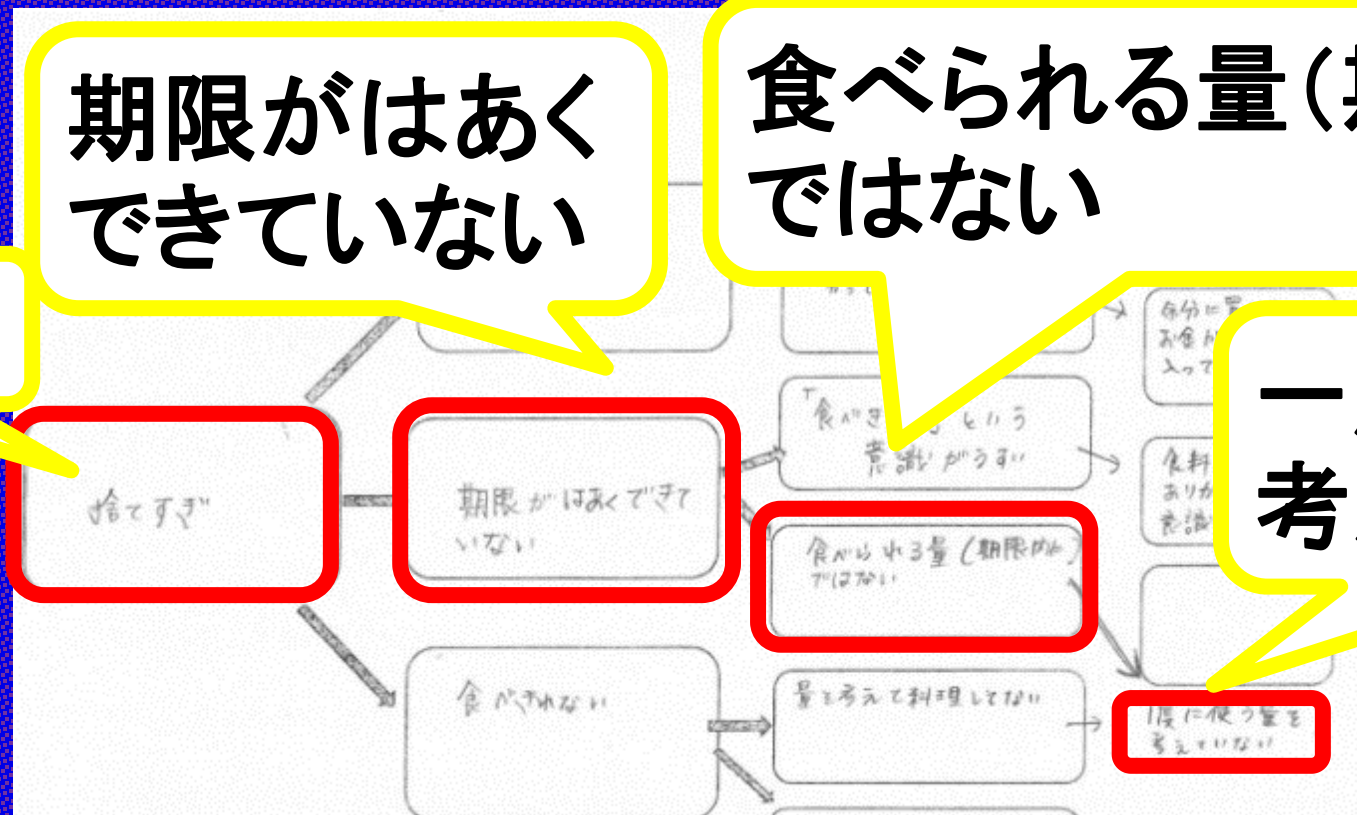
原因はなんだろう(第5時)

期限があく  
できていない

食べられる量(期限内)  
ではない

捨てすぎ

一度に使う量を  
考えていない





# 研究の実践

## ⑥できることを考えよう（第6～9時）

分析をもとに仮説を立て、解決方法を具体的に発想する

「買い物で出してしまう量を1週間300g減らすことができれば」

「世帯で年間15kg減らすことが出来る。」

「つくりすきを1日60グラム減らすことができれば」

（食品ロス）

「年間約80kgの食品ロスが削減出来る。」

# 研究の実践

## ⑥できることを考えよう（第6～9時）

仮説を実証するための具体的な方法について考えよう②

もう1つの実証で、肉などの加工製品は減らせることが出来たが、

野菜などは減らせることができなかった。野菜を買った日についている

（賞味期限）

ラベルなどに賞味期間をかりておくことで、野菜の捨てる量を減らせるだろう。

# 研究の実践

## ⑥できることを考えよう（第6～9時）

人によってやり方がそれぞれあるんだなと思いました。

友達のやつを もう調理したことあるメニュー だけ。そのメニュー

の残った食料を減らして、次につくるっていうのほすこいな

と思いました。みんな仮説は違うけど 結果的に、食品ロスを

減らす、っていう目標があるので、いろいろなやり方があるんだなと

思いました。

## 研究の実践

⑦できることをみんなに伝えよう(第10時)

最初はめんどうさいといわれてたけど  
か、このうちいじんどんかんたんになってい  
くが「家族みんななつ」じてがれは  
なれてくるといっていました。

# 研究のまとめ

## (1) 成果

動画を見て、食料不足で貧しくなる人が増えたり、食べる物がなくなったりなど、とても大変な状況なんだなと思いました。自分たちに何かできるのか、ご飲そのこさないがどをしっかりと考えていきたいと思いました。

・問い直しを通して、現在の食生活に危機感をもち、「自分たちに何かできるのか」と、考え始めることができた。

# 研究のまとめ

お金を1ヶ月で何円以内にするや、何円減らす、何割減らすの  
ような方法をやると、それぞれの家庭によって家族の人数が違  
うから、お金が足りないということも問題になることが分  
るので、3週によって、毎回、対応できるように方法を  
考える。

- ・ 問い直しを通して、解決方法のよさや足りなさに気づき、よりよい解決方法を考えようとすることができた。

## 研究のまとめ

### (2) 次年度の発表に向けて

- ・ 自分の考えの変容をとらえることができるように振り返りの充実を図る
- ・ 仲間との問い直しを促す方法を考える

**ご清聴ありがとうございました**